



としょかんだより

春の訪れを告げる花々がいっせいに咲き始め、日ごとに春めいてくる3月です。陽ざしの暖かい日、近くをのんびり散歩して、春を見つけてみるのもいいですね。今年度も五高図書館の利用ありがとうございました！

春休みの長期貸出・開館日について

新たな一歩を踏み出す春。春休みはこれまでの自分を振り返り、心新たに新年度を迎える準備の時ですね。あっという間の休みだと思いますが、春を感じながら読書する時間もぜひ作ってみて下さいね。

- 貸出期間 3/17(火)～3/24(月)
- 返却日 4/8(木)
- 貸出冊数 1人10冊まで
- 開館日 3/25(木)・26(木) お昼まで。

あとの日は新年度準備のため休館です。

注意

延滞してる人には長期の貸出はできません！返却が確認でき次第貸出します。

2014年度五高図書館人気図書

最も読まれた図書

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1位 ナミヤ雑貨店の奇蹟 | 東野圭吾 |
| 2位 植物図鑑 | 有川浩 |
| 3位 虚ろな十字架 | 東野圭吾 |
| 4位 少女 | 湊かなえ |
| 5位 トワイライト上 | ステファニー・メイヤー |
| 6位 オーダーメイド殺人クラブ | 辻村深月 |
| 7位 生きたい | 奇跡の扉 TVのチカラ |
| 8位 贖罪 | 湊かなえ |
| 9位 向日葵の咲かない夏 | 道尾秀介 |
| 10位 夜行観覧車 | 湊かなえ |



絵本週間 3月27日～4月9日

絵本週間とはアンデルセンの誕生日で「国際子どもの本の日」である、4月2日の前後2週間のことで、よりすぐれた絵本文化の発展と、教育の場や家庭にいつそう「絵本読書」が定着することを願って設けられました。最近では子ども向けから大人も楽しめるものまで様々な絵本があります。図書館にも多くの絵本を置いていますので、ぜひこの機会に絵本の世界を楽しんでみませんか？

東日本大震災の本

2011年3月11日に発生した東日本大震災から4年が経ちました。この間災害の記録や、教訓を伝えるもの、未来への提言など多くの本が刊行されました。五高図書館でも震災に関する多くの本を集め、現在図書館にて特集展示をしています。震災や防災について見つめ直す機会になればと思います。

【報道・写真集】

自衛隊員が撮った東日本大震災	防衛省
だけど、くじけない	長倉洋海と東北の子ども
東日本大震災	朝日新聞社
生きる	日本写真家協会
残された動物たち	太田康介
待ちつづける動物たち	太田康介
あの日のこと	高橋邦則
東日本大震災全記録	一カ雅彦
3・11震災	一カ雅彦



『あの日のこと』
高橋邦則

世界の戦場を目の当たりにしてきたカメラマンが見たものは、凄まじい破壊のあとと果てしなく広がる悲しみの大地だった。

【防災】

『被災地デイズ』矢守克也
震災直後から復興に向かう数年間をシミュレーションできる本。



あなたに優しい防災習慣・天気の見方	三好真紀
子連れ防災手帳	つながる.com
必ず役立つ震災食	石川県栄養士会
地域防災とまちづくり	瀧本浩一
被災地デイズ	矢守克也
逃げましょう	河田恵昭

【原発問題】

津波と原発	佐野真一
福島原発事故をめぐって	山本義隆
知ろうとすること	系井重里
息子へ	飯野賢治

【ボランティア】

ボランティアまるごとガイド	安藤雄太
人を助けるすんごい仕組み	西條剛央
できることをしよう	系井重里

『人を助けるすんごい仕組み』西條剛央

【様々な体験から】

希望	乙武洋匡
つなみ	森健
ともしび	シュープレス
東日本大震災消防隊員死闘の記	南三陸消防署
ラジオ福島の300日	片瀬京子とラジオ福島

西條剛央

人を助ける
すんごい仕組み
ボランティア経験のない僕が、
日本最大級の支援組織をどうつくったのか

ボランティア経験の全くない一人の男性が東日本大震災を機に日本最大級の支援組織を作る。

つなみ



『つなみ』森健
被災した子ども達に作文を書いてもらい、その子どもと家族の取材をまとめたノンフィクション。





2015 年若い人に贈る読書のすすめ

若いひとたちが本を読まなくなったといわれて、久しくなります。若い人たちが本を読まなくなったという年上のひとたちの言葉は、若いときにこそ本を読むべきであったという、後悔の言葉でもあります。あなたのみずみずしい感性、好奇心、柔軟な思考、そうしたものを豊かに持ち合わせているく若い時>に読書をする事は、後の生き方に必ずや大きな実りをもたらします。あなたが読書を日常のなにげない習慣にすれば、思いもかけない幸せな「本との出会い」がきっとやって来るにちがいありません。

(公益社団法人読書推進運動協議会若い人に贈る読書のすすめ リーフレットより)

『若い人に贈る読書のすすめ』とは成人式・卒業式など新たな人生の一步を踏み出す若い人にぜひ読んでもらいたい本を紹介する運動です。今年発行されたリーフレットに掲載されている本を紹介します。新たな一步を踏み出すこの春にぜひ読んでみませんか？

(○は所蔵あり)

『嫌われる勇気』岸見一郎 ○

『東大卒プログラマー』ときど

『自分の壁』養老孟司

『心の力』姜尚中

『クラスメイツ』森絵都

『ハケンアニメ』辻村深月

『わたしはマララ』マララ・ユスフザイ○

『宇宙を目指して海を渡る』小野雅裕

『紙つなげ！彼らが本の紙を造っている』佐々涼子

『あなたはまだ本気だしてないだけ』小玉歩

『花のベットでひるねして』よしもとばなな

『おとなの教養』池上彰 ○

『ポケットに物語を入れて』角田光代

『叱られる力』阿川佐和子

『鹿の王』上橋菜穂子○

『翔ぶ少女』原田マハ

『向かい風で飛べ！』乾ルカ

『いのちの花』向井愛美

『1%の力』鎌田實

※五高図書館に置いてない本は市立図書館から借りることも出来ますので、気になった本はカウンターへ尋ねてください。

この本をピックアップ！

『嫌われる勇気』岸見一郎



なぜあなたはいつまでも変わらないのか？なぜあなたは劣等感を克服できないのか？なぜあなたは幸せを実感できないのか？なぜあなたは過去にとらわれてしまうのか？アドラーの幸福論がすべての悩みに答えをだします。この本はフロイト、ユングと並び「心理学の三大巨頭」と称されるアルフレッド・アドラーの思想(アドラー心理学)を、「青年と哲人の対話」という物語形式で紹介しています。アドラー心理学は、「どうすれば人は幸せに生きることができるか」という哲学的な問いに、まわめてシンプルかつ具体的な“答え”を提示します。

この本はほかの誰でもないあなたが、あなたらしく生きていくためのヒントを与えてくれます。

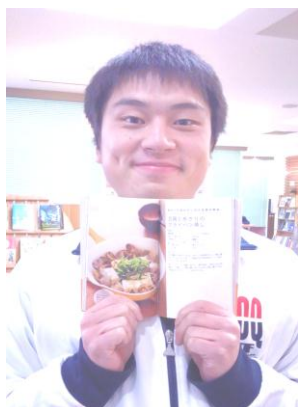
この本に興味を持った人には…

『高校生のためのアドラー心理学入門』もお勧めです！





図書館いろいろ



檉本先生、開いているページの料理を作ったそうです！



卒業後も頑張っていた3年生。



落ち着く場所で読書を楽しみます。



2年6組、読書中。
集中しています。



渚上先生が借りたのは「赤毛のアンに学ぶ幸福になる方法」という本です。脳科学者の茂木健一郎さんが書いたところに興味が湧いたそうです！



図書館掃除は2年4組の男子が担当しました！



桜の飾りで春にお勧めの本を展示。



お知らせとお願い

・2月の貸出冊数は390冊でした。(昨年度は604冊)

・2月の図書館だよりでもお願いしましたが、**今年度中に借りた本は今年度中に返却をお願いします！**（春休みの長期貸出除く）延滞は紛失につながります。春休みに入る前に確実に返却をお願いします。長期延滞が解消されない場合は今後の貸出を停止する場合がありますので、注意して下さい！！

